



大阪科学・大学記者クラブ 御中

2016年7月28日

公立大学法人 大阪市立大学広報室

都市防災教育研究センター(CERD)主催

～いつ起こるか分からない災害への備えを～

第8回サイエンスカフェ(防災研究座談会)を開催します

大阪市立大学 都市防災教育研究センター (CERD) は、平成 28 年 9 月 1 日 (木) に、杉本キャンパス 工学部 G 棟 1 階の中講義室において、「第 8 回サイエンスカフェ (防災座談会)」を開催します。

この「サイエンスカフェ」は防災教育・研究のシーズやプロジェクトの情報共有・連携促進を目的として CERD が実施・運営しています。毎回さまざまな分野のテーマを設定しており、今回は平成 28 年 1 月に当センターと包括連携協定を締結した国立研究開発法人 防災科学技術研究所 兵庫耐震工学研究センターの梶原 浩一 所長を講師にお迎えし、今後の防災・減災に有用な映像をご紹介いただくとともに、映像の力を防災・減災に役立てる手法等についてお話しいただく予定です。

災害はいつ起こるか分かりません。いざという時のために日ごろから備えておくことが大切です。既に防災活動に取り組んでいる方はもちろんのこと、これから始めようという方も是非この機会にご参加ください。

記

日 時：平成 28 年 9 月 1 日 (木) 16:30～18:00 (受付開始：16:10～)

場 所：大阪市立大学杉本キャンパス 工学部 G 棟 1 階 中講義室

講演者：国立研究開発法人防災科学技術研究所兵庫耐震工学研究センター所長 梶原 浩一 氏

http://www.bosai.go.jp/activity_special/the_third/edef.html

参加費：無 料

定 員：150 名

申し込み：不 要 (※当日、開始時刻までに会場へお越しください。)



日本列島は至る所で地震をはじめとする災害リスクを抱えています。私達の災害に対する知識はわずか 1000 年ほどの経験知に基づいたもので、その多くは文献や伝承によって後世に伝えられていますが、災害の実態を正確に理解することは容易ではありません。

昨今、これまでの経験知だけでは適切に対応することが困難な気象や災害が頻発しています。私達の経験知を補うひとつの手段として『実験』があります。『実験』あるいはその映像を通して、どのような事態が起こり得るのかを知り、備えることは、今後の防災・減災に大いに役立つと考えられています。

今回のサイエンスカフェでは、世界屈指の施設である国立研究開発法人防災科学技術研究所 兵庫耐震工学研究センターで実施された実スケールの実験映像をご紹介します。そこから巨大地震のもとでどのような事態が起こり得るのかを学び、映像の力を防災・減災に役立てる手法等について参加者の方々と共に議論を深めたいと考えています。



サイエンスカフェ企画担当

重松 孝昌 教授

■ ご取材について

本学の防災に関する取り組みにご興味をお持ちいただきご取材にお越しいただける場合は、開催当日〔9月1日（木）〕の13時までに、電話かメールにて広報室までご連絡いただきますようお願い申し上げます。

【広報室】TEL：06-6605-3411 / E-mail：t-koho@ado.osaka-cu.ac.jp

【本件に関する問い合わせ先】
公立大学法人大阪市立大学 広報室
担当：竹谷
TEL：06-6605-3410 /3411
E-mail：t-koho@ado.osaka-cu.ac.jp

第8回サイエンスカフェ（防災研究座談会）

大阪市立大学都市防災教育研究センターでは、防災教育・研究のシーズやプロジェクトの情報共有や連携促進を目的として、防災研究座談会を開催しています。

今回は平成28年1月に当センターと包括連携協定を締結しました国立研究開発法人防災科学技術研究所兵庫耐震工学研究センターの梶原浩一所長を講師にお迎えし、今後の防災・減災に有用なさまざまな映像をご紹介いただくとともに、映像の力を防災・減災に役立てる手法等についてお話しいただく予定です。

災害はいつ起こるか分かりません。いざという時のために日ごろから備えておくことが大切です。是非この機会にご参加ください。

日時：平成28年9月1日（木） 16:30～18:00

場所：大阪市立大学杉本キャンパス 工学部 G 棟 1 階 中講義室

話題：「映像の力を防災・減災に役立てる(仮)」

国立研究開発法人防災科学技術研究所

兵庫耐震工学研究センター長 梶原 浩一 氏

[概要]

日本列島は至る所で地震をはじめとする災害リスクを抱えています。私達の災害に対する知識は、わずか1000年ほどの経験知に基づいたものでしかありません。その多くは文献や伝承によるものであり、その実態を正確に理解することは容易ではありません。

昨今、これまでの経験知だけでは適切に対応することが困難だと思われる気象や災害事象が発現しています。私達の経験知を補うひとつの手段として『実験』があります。『実験』あるいはその映像を通してどのような事態が起こり得るのかを知り、備えることは、今後の防災・減災に大いに役立つことと思います。

今回のサイエンスカフェでは、世界屈指の施設である国立研究開発法人防災科学技術研究所兵庫耐震工学研究センターでこれまでに実施された実スケール実験の映像をご紹介いただき、巨大地震のもとでどのような事態が起こり得るのかを学ぶとともに、映像の力を防災・減災に役立てる手法について議論したいと思います。

お問い合わせは下記のMail宛にお願いします。